

東洋療法いわて

会報第 52 号

令和 2 年 5 月 1 日

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会

《写真コーナー》



令和元年度定時総会(5月12日)
佐々木 実会長と出席者



総会後の懇親会(5月12日)
歓談風景



第1回生涯研修会(6月23日)
はり実技指導：館下正則先生



第1回生涯研修会(6月23日)
マッサージ指導：伊藤庸一先生



東鍼連福島大会学術発表者(7月8日)
高橋康浩さん(右から3人目)



東鍼連福島大会参加者(7月8日)

県民の健康生活を守ります！

鍼灸マッサージ 県民公開セミナー 2019

◆◆ 鍼灸マッサージ師による ◆◆

- ① 東洋医学の健康相談実施！
- ② 各種疾患の無料治療実施！
- ③ 健康体操・運動指導実施！

大好評！

参加費 無料！

2019年8月4日(日) 11:00~14:30

会場 / アイーナ4階・県民スラザA・B・C
"新しい時代が「鍼灸マッサージ」を求めている！"

— 8月9日は「はり灸ろう・マッサージの日」 —

主 催 一般社団法人 岩手県鍼灸マッサージ協会

県民公開セミナー2019 ポスター(8月4日)



県民公開セミナー(8月4日)
はり施術



県民公開セミナー(8月4日)
マッサージ施術



第7回生涯研修会(11月24日)
松浦直美先生



第7回生涯研修会(11月24日)
参加者の皆さん



第8回生涯研修会(2月9日)
参加者の皆さん



第8回生涯研修会(2月9日)
講師:藤原 正先生

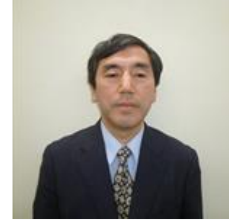


第8回生涯研修会(2月9日)
実技:藤原 正先生



第8回生涯研修会(2月9日)
体験治療の様子

巻頭言



(一社) 岩手県鍼灸マッサージ師会
会長 佐々木 実

平成から令和へとバトンタッチされた今年度も残り 2 週間余りを残すのみとなりました。天皇即位は、譲位ということやまた雅子様健康回復も感じられる中、明るく何か希望を持たせてくれるムードの中行われました。

ところが、その後の台風 15 号や 19 号の列島襲来は各地に大きな被害をもたらし、天皇即位パレードも延期になるほどでした。

当会でも 10 月 13 日に予定されておりました北上市マラソン大会マッサージボランティアが台風 19 号のため中止となりました。

また、それにも増して被害をもたらしているのが新型コロナウイルスによる感染の広がりです。昨年 12 月中国の武漢で発生した新型肺炎は、あっという間に世界に蔓延いたしました。

休校、観光減少、スポーツを含む各大会の中止、株価急落、経済低迷、マスクやトイレトペーパーの不足等々生活に大きな影響を及ぼしています。

当会でも 3 月 22 日に行う予定だった理事会が電子的方法に代わり、これから開かれる総会に向けての各種会議の開催をどうするかなど、終息予測がつかないだけに頭の痛い問題となっています。

そんな中、副会長の山本英典さんが岩手県保健功労賞を 11 月に、大船渡支部の田沢博崇さんが障害者勤労県知事表彰を 8 月に受賞されたのは会員に明るさをもたらしてくれました。

山本さんは長年、会の財務に携わり、社団から一般社団法人化への移行に当たっては、会の財政構築に尽力されました。現在も副会長としてご活躍されております。

また田沢さんは、老人施設で長年マッサージの仕事に従事され、その勤勉さが評価されたものと伺っております。

お二方とも誠におめでとうございます。

昨年 1 月から始まった「鍼灸マッサージ委任払い制度」は、審査員に当会理事の井口力さんが就任されたことなどもあり、順調な浸透を見せているようです。しかし、事務処理の複雑化などついていけない人たちも多く、その問題をどう解決していくかがこれからの課題と言えます。

いわゆる 19 条裁判においては業界では当会は率先して被告の国を支持し、署名も東鍼連に 105 筆、日視連に 150 筆余り、点字葉書署名も 170 筆余りの協力をして参りました。また、仙台地裁での口頭弁論にも毎回 6、7 人が参加するなど積極的に取り組んできました。昨年 12 月 16 日には東京で、今年 2 月 25 日には大阪でそれぞれ国の勝訴判決が下りましたが、いよいよ 4 月 27 日には私たちが力を尽くしてきた仙台地裁の判決が行われま

す。どちらが勝っても控訴は必至とみられ、今後とも全鍼の支持通り国を応援していきたいと考えております。

最後に、私事ですが昨年の東鍼連福島大会で東鍼連会長への推薦を受け就任する運びとなりました。紐解きますと、岩手県師会からの東鍼連会長就任は初めてのことのようです。重責ではありますが、今後の岩手県師会、東北鍼灸マッサージ師会連合会のために尽力して参る覚悟です。

皆さんの一層のご協力、ご鞭撻をお願いして巻頭言といたします。

目次

写真コーナー

巻頭言	会長 佐々木 実	...	1
令和元年度活動報告			
総務部報告	総務部長 古館吉弘	...	4
令和元年庶務日誌			
令和元年度定時総会報告			
会長会務報告	会長 佐々木 実	...	6
全鍼代議員総会等報告			
全国都道府県師会長会議報告			
東鍼連師会長会議報告			
学術部報告	学術部長 佐藤 明	...	10
令和元年生涯研修会報告			
事業部報告	事業部長 舘下正則	...	14
保険部報告	保険部長 袖林広正法	...	15
組織強化部報告	組織強化部長 佐藤 茂	...	16
健康づくり委員会報告	委員長 古水健吾	...	17
東洋療法推進大会 IN 神奈川（横浜）報告	会長 佐々木 実	...	18
東鍼連学術大会福島大会報告	学術部長 佐藤 明	...	19
鍼灸マッサージ県民公開セミナー2019 報告	学術部長 佐藤 明	...	21
三団体共催生涯研修会報告	会長 佐々木 実	...	22
東鍼連学術研究発表資料	盛岡支部 高橋康浩	...	22
各支部報告			
二戸支部	支部長 古館吉弘	...	24
盛岡支部	支部長 佐藤 明	...	24
奥州支部	支部長 千田節雄	...	26
一関支部	支部長 舘下正則	...	26
大船渡支部	支部長 古水健吾	...	27
花巻遠野支部&宮古釜石支部			
編集後記	広報部長 松下優子	...	27
奥付			

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会 令和元年度活動報告

総務部報告

総務部長 古館吉弘

平成 31 年度（令和元年度）

総務部日誌

- 4 月 1 日 盛岡医療福祉専門学校鍼灸学科の入学式に佐々木会長出席（アートホテル）
- 4 月 8 日 法人県民税納入
- 4 月 19 日 法人市民税納入
- 4 月 21 日 第 1 回監査会並びに第 1 回執行部会議、県民公開セミナー実行委員会、創立 80 周年記念誌発行委員会会議開催（アイーナ団体活動室 3）
- 4 月 26 日 岩手県保険審査会審査員推薦状を国保連合会に提出
- 5 月 12 日 第 1 回理事会並びに第 78 回定時総会開催
- 5 月 26 日、27 日 全鍼代議員総会、協同組合総代会、「あはき」連盟総会、東鍼連第 3 回理事会開催（東京）、佐々木会長出席
- 7 月 7 日～8 日 東鍼連福島大会開催、付き添い 2 名を含め 19 名参加（リステル猪苗代）
佐々木会長が東鍼連会長に就任
- 7 月 11 日 平野達男後援会に佐々木会長、佐藤明副会長、佐藤茂組織強化部長、松下広報部長が参加（ニューウィング）
- 7 月 21 日 東鍼連臨時理事会に佐々木会長出席（アイーナ）
- 7 月 28 日 第 2 回執行部会議（アイーナ）
- 8 月 4 日 鍼灸マッサージ県民公開セミナー 2019 開催（アイーナ）
- 8 月 31 日 法人経済コンセンサス調査表を総理府に送る
- 10 月 1 日 盛岡市と「生活保護法による医療扶助の施術（はり、きゅう、按摩マッサージ指圧）に関する全部変更証明書」を交わす。また、同日、「労災保険按摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師施術料金算定基準協定書」を労災補償課と岩保会との間で交わす
- 10 月 17 日 岩手県と「生活保護法による医療扶助及び中国残留邦人等の円滑な帰国促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律による医療支援給付の施術（はり、きゅう、あん摩・マッサージ・指圧）に関する変更協定書」を交わす
- 10 月 20 日、21 日 第 18 回東洋療法推進大会 in 神奈川（横浜）に、伊藤庸一相談役、佐々木実会長参加
- 10 月 27 日 第 2 回監査会並びに第 2 回理事会（電磁的方法）
- 11 月 10 日 東鍼連師会長会議に佐々木会長出席（アイーナ）
- 11 月 13 日 山本英典氏が岩手県保健功労賞受賞、エスポワールいわてにおいて表彰式
- 11 月 17 日、18 日 全国都道府県師会長会議、全鍼連盟会議、協同組合研修会に佐々木会長出席（東京）
- 11 月 23 日 東鍼連保険部長会議に袖林保険部長、佐々木実会長、佐藤明副会長が出席（アイーナ）

- 11月23日 「あはき運動交流会盛岡」に佐々木会長来賓出席
12月1日 宮城県師会創立80周年記念式典に祝電を送る
令和2年1月12日 第3回執行部会議開催（釜石市鶴住居「宝来館」）
2月2日 視覚障害者団体連絡協議会会議に佐々木会長出席（岩手マッサージセンター）
3月15日 盛岡医療福祉専門学校鍼灸学科卒業式に佐々木会長出席予定（新型コロナウイルス蔓延防止のため中止）
3月22日 第3回理事会開催（新型コロナウイルス蔓延防止のため電子的方法で実施）

平成31年度（令和元年度）

第1回理事会並びに第78回定時総会報告書

総務部長 古舘吉弘

今年の理事会、総会開催は平成から令和に元号が変わってからの事業となりました。

令和元年5月12日の日曜日は朝から澄みきった青空の下、アイーナ5階の501Aにおいて午前9時半から第1回理事会が開催されました。理事全員が出席し、第1号議案会務報告、2号議案各部事業報告、3号議案財務部収支決算報告並びに監査報告、4号議案運営規定一部改正、5号議案その他、とそれぞれ審議され承認されました。

次に、理事会終了後に第78回定時総会が開催されました。

最初に、総務部長の古舘より資格確認について報告が行われました。（会員総数104名中、本日出席者42名、委任状40名、合計出席者数82名、欠席者22名で総会は成立）

引き続き、佐藤明副会長により開会の言葉が述べられ、次いで佐々木実会長の挨拶、顧問の小澤信男氏の挨拶、来賓として顧問でもある岩手県議会議員の神崎浩之氏よりご挨拶をいただきました。祝電披露の後、議長に大船渡支部の古水健吾氏、議事録記録人に盛岡支部井口力氏、議事録署名人に釜石宮古支部佐々木キミ子氏、盛岡支部佐藤茂氏を任命し承認されました。

引き続き、議長が登壇し議事に入りました。

第1号議案 会長会務報告

第2号議案 平成30年度各部事業報告と承認

- (1) 総務「庶務部」含む、(2) 事業部、(3) 学術部、(4) 保険部、(5) 組織強化部、
(6) 広報部、(7) 特別委員会（健康づくり委員会、無資格対策委員会）

第3号議案 平成30年度財務部収支決算報告並びに監査報告と承認

第4号議案 運営規定一部改正と承認

第5号議案 会費値上げの件について説明

第6号議案 会費及び入会金規則一部改正と承認

第7号議案 選挙管理委員任命について説明

第8号議案 県民公開セミナー実行委員会設置について説明

第9号議案 平成31年度各部事業計画について報告

第10号議案 平成31年度財務部予算について報告

第11号議案 その他

以上、すべての議案に対して満場一致で承認されました。

尚、その他で岩手県師会創立80周年事業について会長より説明がありました。また、東鍼連福島大会や学術部からの研修会についてお知らせがありました。

ここですべての議事が終了して議長が降壇し、山本英典副会長の閉会のことばで総会は終了いたしました。

尚、会長会務報告や各部の報告も詳しく会報に記されていますので参照ください。

それから、令和元年度は入会者が3人、退会者が7人ありました。

以上で、報告を終わります。

会長会務報告

会長 佐々木 実

全鍼代議員会等報告

5月26日、27日に東京の「ホテルルポール麹町」で行われた全鍼代議員総会、全鍼連盟総会、協同組合総代会、東鍼連理事会の四つの会議の報告をします。

全鍼代議員総会

議題であった平成30年度の事業活動、決算報告、令和元年事業活動、予算案は意義なく承認されました。また、役員改選では立候補した18人（定数に満たない）の信任投票が行われ、全員が信任当選しました。これを受けて伊藤久夫氏が会長として再任されました。

以下に話し合われた事柄を簡単に記します。

（会長）

- ・ 広告検討会では結論が半年以上延びそうだ。
- ・ 厚労省は無免許者のことを「国家資格外行為」と呼ぶようになっている。その意図については今後しっかりと見極めていかなければならない。
- ・ 広告のネットパトロールの必要性は委員会で一致している。
- ・ WHOは「鍼灸」を伝統医療として医療分野に加えている。日本もその動きがある。
- ・ 来年のオリンピックで、選手村で鍼灸が行われるのはオリンピック史上初めてで、これも日本開催だからだと考えられる。
- ・ 県と各師会とで災害協定を結んでほしい。今のところ滋賀県、大阪府、和歌山県の3県だけである。

（石川） 昨年度の退会者数と、その理由を教えてください。

（事務局） 235人で、ほとんどが高齢化のためである。それに対し、新入会員は思うように入会してこない。この傾向は他の業団体も同じようである。

（岐阜） 保険施術者番号は今回の受領委任払い施術所登録で有名無実化となったのか？

（保険局） その通りだ。何とか会のメリットになるようにと保険指定更新制（5年間）を各県師会で受託してもらい、会に入っている人は無料、入っていない人からは高く料金を取るといった形にしていきたい。

（事業局） 鍼灸師の機能訓練指導員研修を企画したい。これには鍼灸師ばかりでなく、一般看護師なども参加可能としたい。

（広報局） 全鍼HPを新しくした。覗いてみて意見があったら寄せてほしい。

（宮城） あはき等法改正を速めてほしい。

(法制局) 広告制限緩和の話が終わってからとなる。秋頃には厚労省と協議出来る環境づくりをしたいと思う。

この他、自賠責保険のパンフレットを作ってほしい(福島)、業界の一本化を望む(石川)などの要望が出されました。

全鍼連盟会議

(伊藤久夫会長)

- ・会員数と会費は一昨年度よりは伸びているがまだまだ足りない。無免許、保険、法改正などの問題は「鍼灸マッサージを考える国会議員の会」の力を借りるしかない。運動には金と人数が必要だ。
- ・「鍼灸マッサージを考える国会議員の会」の事務局を25年もやってきてくれている衛藤晟一氏が今度の参議院選挙を迎える。各県師会に後援会に入ってくれる人をお願いしたら、目標の(6万人)の割にも満たない5千人程度であった。我々の願いを実現するのは政治の力だということをも一人一人がもう少し認識して、後援会集めに力を尽くしてほしい(6月末まで募集)。
(ちなみに、岩手県師会は東北ではずば抜けて多く、250人余の後援会者数であった。0の県やそれに近い値の県が多かった中、皆さんの協力に感謝します。でも、まだ足りませんので協力をお願いします。全鍼執行部も頑張っているのです、私たちも応援しましょう)
- ・会費については、これまで通り各県師会は会員の半分の人数の会費を各県単位で納入してほしい。
(これも東北では岩手だけがノルマ達成です。今年度も岩手は会費から出しますので、皆さんに振込用紙は送られて行くことはありません)
- ・役員改選では、全員が留任と決まり、委員長も留任で伊藤久夫氏です。

協同組合総代会

- ・協同組合の昨年の収入は4千100万余で支出が4千万余。法人税等を引いた残額が30万円程度であった(利益)。
- ・各県総代者は協同組合の出資者になってほしい。
- ・協同組合定款の一部改正が提案されましたが、これは文言等の正しい修正や、全鍼会員の出資者の占める割合を一定のものにする(他に乘っ取られないように)ためのもので、改正案は全会一致で承認されました。
- ・役員改選については、ほとんどの人が留任となり、理事長には堀氏が再任されました。副理事長には杉田久雄氏、専務理事には伊藤久夫氏が留任です。

東鍼連理事会

会議は26日の夜、8時半から11時まで会長宿泊部屋にて行われました。

- ・東鍼連福島大会について平栗福島県師会長から少し遅れ気味ではあるが進めていること、猪苗代という交通の便の悪い所ではあるが、観光にも力を入れた大会としたとの説明がありました。また、協同組合から大高酵素と紀州の梅干しが店を出すことになったとの説明もありました。大会は全日本鍼灸学会の協賛も受けたとのことです。

- ・東鍼連山形交流会の説明もあり、9月28日、29日に上山市で行われ、その内容が山形県白田会長から説明されました。果樹園やワイン工場、上山城見学など楽しい交流会となりそうです。
- ・来年度の東鍼連山形大会の場所や臨床体験発表のテーマも告げられました。場所は天童温泉「ほほえみの湯」。臨床体験発表テーマは、「不定愁訴に対する東洋医学的アプローチ」。なお、大会テーマは、「山形 2020 世界に発信東洋医学の力」なそうです。
- ・県との災害派遣締結については、どの県も二の足を踏んでいるというのが現状でした。というのは一番に派遣人員の確保が難しいということが主でした。岩手も例外ではありません。これについてはもう少し様子を見ようということになりましたが、東北で何か災害が起きた場合は東鍼連が先立ちとなり動くということに一致しました。
- ・山田会長が宮城県師会会長を退任されたことにより、東鍼連会長も7月の理事会・代議員会で代わることとなり、候補を出し合いました。そして、7月の東鍼連福島大会代議員会で役員改選を行うことに一致しました。

以上、30度を超す暑さの中、そしてアメリカのトランプ大統領来日で警備の非常に厳しかった東京滞在の二日間でありましたが、無事予定通りに帰宅することが出来ました。

全鍼師会長会議等報告

11月17日～18日にかけて行われました全国師会長会議、全鍼連盟会議、協同組合研修会に参加して参りましたので、簡単にその報告をします。

まず、全国師会長会議ですが、

1. 年度上期の事業や財政状況と下期の執行について
2. 各県提出議題などが主な議案でした。

(総務) 昨年より会員が411人減って8051人となった。

(広報委員会) 月刊東洋療法の墨字版を来年度から徐々に電子ブック化していきたい。HPにQRコード付きのデータをアップする。点字、音声、メール版はこれまで通り。(経費節減のため)

(障害委員会) 来年世界マッサージ大会が幕張で11月7日、8日にある。多くの人が参加してほしい。

(災害委員会) 台風15、19号で会員にも多くの被害が出た。寄せられた災害支援金の中から家屋半壊3万円、全壊5万円を送った。全鍼師会会館にボランティア活動に必要な品々をストックし、各地でボランティア活動を行う時は、求めに応じそれらを送るようになる。

(保険委員会) 消費税値上げによる料金値上げの参考として青色申告のデータを集める呼びかけをしたが、鍼灸師会との二団体で60件しか集まらなかった。白色申告でも参考に出来るようなことを厚労省に交渉していきたい。

(東洋療法推進大会) 来年は9月27日～28日、徳島で行うが、開催費が開催県の持ち出しのないようにしたい。その上で、なるべく全国的なエリアで行いたい。分科会を少なくして経費を減らすことや、女性だけの分科会も検討していきたい。

(質問：岩手) 認定訪問マッサージ講習会についてだが、認定を受けると何かメリット

はあるのか？認定カードは5年ごとに更新講習を受けることとなっているが、メリットがないのなら認定講習ではなく、ただの講習会の方が良いのではないか。

(小川委員長) 特に認定を受けたからといって医師が同意書を出してくれるという訳ではない。だが、こうして勉強しているという証明にはなると思う。また、有名な講師を招いての講習会参加が安く受けられるというメリットはある。5年ごとの更新講習については、その年に参加が困難であれば理由を言ってもらえば翌年に伸ばすことも可能である。

(岩手) 来年度は免許保有証の更新時期と思うが、財団の方に、見えない者でも触って表裏が分かる印を付けることを要望してほしい。

(会長) 申し入れておく。

(視覚障害委員会) 19条裁判は勝訴の可能性が高いと思われるが、気を抜かずに協力をお願いしたい。

(健康づくり委員会) 2025年までに各県で健康づくり教室を開いているという形を作ってほしい。対象者は年寄りだけでなく、障害者、妊婦など多岐にわたってかまわない。

(東鍼連) 自賠償保険業者に、あはき取り扱いが可能である旨や、その方法のリーフレットを作って配布してほしい。

(保険委員会) 団体で作った物だと効力がないので、国交省に作ってもらうように要望したい。

(協同組合) 協同組合出資者が全鍼会員で構成されていることを目指して運動していきたい。そうでないと外部の出資者に協同組合を牛耳られることになりかねない。出資者を募集している。

全鍼連盟会議

(佐賀) 衛藤晟一氏の各県得票数や順位を示してほしい。

(連盟委員長) 示すことは出来るが、県全体で、全鍼会員がどれだけ入れたかなどは分からない。ただ、衛藤事務所の調べによると、「他団体と比較して全鍼師会からの応援が一番大きかった」と感謝の言葉があった。

(栃木) 連盟会費が多く集まるような方法を考えてほしい。

(委員長) 公益法人は政治活動をしてはいけないとなっている。そのため連盟を作っている。よって、その運営資金は個人のカンパや寄付金に頼るしかないので協力をお願いしたい。

協同組合研修会

18日の協同組合研修会は、医療過誤（堀理事長）と保険取り扱いの今後（往田保険委員長）というテーマで行われました。内容を箇条書きします。

- ・ 医療事故があった場合、必ずカルテの提出を求められる。必ずカルテはつけてほしい。
- ・ 受領委任払い制度が始まってから保険取り扱いが全国で減った。
- ・ 保険に関するメーリングリストを作り、全国の情報交換を行いたい。
- ・ 来年の料金改定では、業団としてはマッサージでは部位ごとの加算ではなく、行った

ことによる料金とするように要望していきたい。そうなれば同意書の形式も簡単になり、医師も書き易くなるのでは。

・鍼灸については、医科との併用ができないので、申請書がデータ化されたら現在通っている申請書の 30 パーセントくらいははねられると予想される。医師による鍼灸の点数化が成れば道は開けるが難しい。まずは 6 疾患の中から頸椎捻挫後遺症の鍼灸治療を医師の下で行えたとすれば突破口は開けると思うが、なかなか実現不可能だ。

・往療については往療料が縮小される方向にある。キロ加算もなくなると予想される。

その他、保険に関する細かい質疑応答がありましたが、詳しいことを知りたい方は私の所まで連絡を下さい。

会議が行われた東京は、1 日目は 20 度を超す温かさ、2 日目は 10 度にやっと達する気温でした。季節は一気に秋から初冬に変わったようです。岩手に帰って新幹線から下りたら、冬本番を思わせる寒さ。東北の発展を妨げてきた寒さと雪が間もなくやってきます。皆さん負けずに頑張りましょう。

学術部報告

学術部長 佐藤 明

第 1 回生涯研修会報告

令和時代に入り最初の研修会となった第 1 回生涯研修会は、6 月 23 日（日）アイーナ団体活動室 2 において開催され、会員 34 名を含む合計 38 名が参加しました。

午前の部は、開講式に続いて、東鍼連福島大会学術研究発表予行となる、「中高生のスポーツ外傷、障害に対する鍼灸施術の一例」を、はり灸整骨 Y 's (ワイズ) 東洋・院長高橋康浩先生の発表がありました。

次に、佐々木実会長が 5 月 26・27 日にかけて、全鍼師会代議員総会などの会議に出席された報告として「業界の中央情勢について」の講話を行っていただきました。

1. 保険取り扱いについて
2. 広告緩和について
3. 鍼灸はWHOでは伝統医療と位置づけ
4. 法改正の動き
5. 災害支援→あはきを医療チームとして位置づけ
6. 免許保有証について
7. 協同組合損害賠償保険事故例
8. 福岡問題解決

三題目の講話は、袖林広正法保険部長による「平成 30 年度保険取扱い結果報告」がありました。各保険種別の療養費取扱高の総合計は、2,941 件で 28,338,318 円であり、前年比 7,426,270 円増と報告されました。割合はマッサージ約 70%、鍼灸約 30%でした。

今年度から岩手県師会では、鍼灸マッサージの自費診療で営業力を向上させる方針で、「あはき講座」として新たな取り組みを始めました。それは、ベテラン先生の臨床経験を後輩に伝承してもらえようご指導いただくというものです。

午後の部は、「あはき講座」の 1 番目として、「肩関節痛に対する一本鍼療法」のテーマ

で、本会事業部長、東医堂鍼灸治療院院長の館下正則先生に講師を務めていただきました。症状のある肩関節の反対側の内果後側の腎経の太谿穴にステンレス1寸1番で切皮程度の置鍼をするというもので、数分から10分程度で患部が温かく感じて痛みが軽減するなどの効果を体験者は実感されていました。

「あはき講座」の2つ目は、「私を育てた3つの言葉」という演題で、本会相談役の伊藤はりきゅうマッサージ治療院院長の伊藤庸一先生による講話をいただきました。

修業時代の師匠の言葉や薫陶を受けたこと、患者さんから学んだことを通し独自の技術を磨いたことのお話をお聞きしました。実技ではマッサージの手技を体験したいという希望者が相次ぎ、伊藤先生の手感触を覚えていただきました。

閉講式では、施術体験された5名の方にも受講感想を述べてもらい、佐々木会長の講評をいただき終了となりました。

第7回生涯研修会報告

令和元年度第7回生涯研修会は、11月24日（日）、アイーナ6階・団体活動室3において開催されました。今回も東鍼連保険部長研修会を兼ねて開催され、東鍼連保険部長4名と本会会員22名を含む合計31名の参加がありました。

開講式では、佐々木実会長のあいさつ、東鍼連各県保険部長あいさつと自己紹介をいただき研修会は始まりました。

午前の部の講演は、演題を「100歳までの素敵な日々ー自分の歯で颯爽と生きるための知恵とはー」というものでした。講師は、盛岡市青山で歯科クリニックを開設されている歯科医師の松浦直美先生をお招きしました。

松浦先生は、岩手医科大学歯学部卒業以降にイギリスに留学され、ヨーロッパの歯科医療に関する考え方を学ばれて帰国し、現在もその考え方を実践されているそうです。

それは何かというと、定期健診の受診率です。スウェーデン：90%、米国：80%、英国：70%に対して、日本：約5%と大幅に少ないという統計があり、日本は、定期検診を受けた人と治療だけを受けた人の歯の残存数は、30代では同じ27本に対して、80代では定期検診を受けた人は15.7本、治療だけ受けた人は6.8本となっているのが現状だそうです。

虫歯と歯周病で7割以上の方が歯を失っている。その虫歯や歯周病の原因は、細菌のかたまりのバイオフィルムが形成されるためであること。歯を失う第2の原因の歯周病は、歯と歯ぐきの境目（歯周ポケット）に住み着いた歯周病原菌がバイオフィルムを形成し、細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患であり、細菌が取り除かれずに停滞したバイオフィルムが、歯を支えている土台（歯槽骨）を溶かしていく病気であること。また、歯周病は、糖尿病をはじめとする様々な病気に関わることなどの説明がありました。

さらに、虫歯と歯周病は原因がはっきりしているため、予防可能であり歯科医師や歯科衛生士と連携することが大切であること、その具体的なオーダーメイド治療の前段階として、各種検査法や治療法の各論的な説明も紹介していただき、現在の歯科領域の最前線の情報をお話しいただきました。

まとめとして、次のように結論を述べられました。

- ・ 歯科医院で、自分の現状を知るため、しっかりとした検査を受け、予防対策を立てる
- ・ 歯をなるべく削らない

- ・歯が抜けたらしっかり修復する
- ・歯を傷つけないで、バイオフィルムを除去する正しいメンテナンスを定期的にする
- ・マイ歯科医院、マイ歯科衛生士を持つ

松浦先生から、医学知識を深める内容の濃いお話をお聞きすることができ、患者さんの健康指導に大いに役立つものでした。

午前の部の2つ目は、講話として「保険審査会委員の業務について」というテーマで、講師は本会庶務部長の井口力先生にお願いしてお話をいただきました。

受領委任払い制度が施行されたことにより、今年6月から新たに毎月1回、医師会より1名、鍼灸マッサージ師会1名、鍼灸師会1名で構成する保険審査会委員3名のうちの一人として、重要な任務を担い本会代表として出席いただいております。審査業務の概要についてお話いただきました。今後は審査についての厳しさは増すことが予想されると報告いただきました。

午後の部の講演2題目は、「訪問医療マッサージの治療院経営について」～全国フランチャイズ展開のレイス治療院が語る～と題して、講師にはレイス治療院花巻・北上・盛岡店代表でありオーナーの田口倫行（のりゆき）氏をお招きして講演をいただきました。

最初に田口オーナーから、挨拶と自己紹介、これまでの職歴からレイス治療院のフランチャイズに応募した理由や、起業するまでの経緯と起業から現在に至るまでの経営者としての熱い思いや考え方についてお話をいただきました。

次に、神戸市にあるレイス治療院本部から、フランチャイズ担当役員の方が応援に駆け付け、次の事項について詳しい説明がなされました。

- ・株式会社レイスヘルスケア・レイス治療院の紹介
- ・株式会社レイスヘルスケア創業ムービー
- ・訪問医療マッサージの治療院経営について

レイス治療院の創業以来17年間のあゆみと蓄積された業績を紹介していただき、創業者の思いや経営理念、訪問医療マッサージ業界の先発組としての自負や保険請求の不正は絶対しないという規律を守り通しているなど、誠実な事業運営をしていると感じました。

超高齢化社会を迎え、訪問医療マッサージの対象者が増加しその市場規模も拡大傾向ではあるが、マッサージ師の人材難という課題があり事業発展のために有資格者を募集している。自由な時間を使い訪問医療マッサージ事業に参加してほしいと私たちにも呼びかけていました。

レイス治療院の訪問医療マッサージ事業は、会社として役割分担と分業化を構築してシステム化されている。特許を取得したビジネスモデルの強みを生かし、今後も事業展開していくという企業マインドを理路整然とプレゼンテーションされ、その熱い情熱と気概を感じることができました。

講演後の質問も活発に行われ、来年度には会社のシステムを活用して、鍼灸を含めた往診治療も取り扱えるように検討したいと答えていました。

閉講式では、佐々木会長による二つ講演に対する講評をいただき終了となりました。

第8回生涯研修会報告

令和元年度第8回生涯研修会は、2月9日（日）、アイーナ5階・501Bにおいて開催され、会員20名を含む合計30名の参加がありました。

開講式では、佐々木実会長のあいさつに続き、秋田県師会から1名、一般鍼灸師4名の氏名が紹介され歓迎の拍手が送られ研修会は始まりました。

午前の部の講演は、演題を「臨床における経絡治療の独自性と可能性」というもので、本会会員であり東洋はり医学会前岩手支部長藤原正先生を講師としてお招きしました。

講演の内容は、「経絡治療との出会いと勉強を始めた動機」、「東洋医学の基本理論」、「実際の臨床として3つの治療例の紹介」、「東日本大震災の被災体験と避難所での治療体験2例」について、そして「まとめ」までを1時間半お話を頂きました。

経絡治療に取り組んで31年間、鍼灸師としてのあゆみと経験を豊富な臨床例の一端を紹介しながらお話しいただきました。講演の最後では、大震災当時の様子や体験談も語られるなど、記憶の風化防止のためにもとても大切なことだと思いました。

また、東洋医学は東洋哲学から派生した自然医学であること、その死生観は「自然に生かされて自然に生きること」、必要以上の欲望を捨てて「健康に生きて死ぬまで生きる」ことが根本思想であると述べられとても印象深く残りました。

午後の部は実技となり、「模擬患者として体験治療」、「脈診について」、「基本刺鍼」の3班に参加者を分けて行いました。体験治療は、藤原正先生と中村匡宏（まさひろ）先生（東洋はり医学会会員）、脈診は佐藤明（東洋はり医学会会友）、そして、基本刺鍼は、袖林広正法（ひろのり）さん（東洋はり医学会元会員）、袖林正美さん（東洋はり医学会会員）にそれぞれ指導を担当していただきました。

今回は、経絡治療という一つの治療法を紹介することができたと思います。興味と関心のある方はぜひ専門の場所で学ばれるようお勧めします。

閉講式では、参加者会員を代表して伊藤庸一さん、一般参加の古舘華子さんに受講感想をお話しいただき、佐々木会長から講演と実技に対する講評と講師の藤原正先生へお礼の言葉が述べられ研修会は終了となりました。

令和元年度のまとめ

第1回生涯研修会は、お二人のベテラン先生のお陰で盛り上がりを見せ、「あはき講座」の主旨を大いに高めていただきました。

第2回生涯研修会としての東鍼連福島大会では、主管県に次ぐ参加者数で大会の盛り上げに大いに貢献できたと思います。

第3回生涯研修会となる鍼灸マッサージの日記念イベントは、会員や市民の意見をもとに徐々に充実しており、次回に向けてより良いイベントにしたいと思います。

第4回生涯研修会は、腰部脊柱管狭窄症の診かたと鍼灸手技療法というテーマでした。東鍼連福島大会でも同じテーマの学術講演があり、より具体的に勉強になったと思います。

第5回生涯研修会である一関国際ハーフマラソンボランティアは、30数回継続されている社会貢献活動です。

第6回生涯研修会の東鍼連山形交流会は、年ごとに参加者が増えている大きな事業となっています。

第7回生涯研修会は、盛岡市において東鍼連保険部研修会と合同開催されているものです。

第8回生涯研修会は、「あはき講座」として行われたものです。伝統的な鍼治療方式を臨床に生かしているベテラン先生の学術を体験することができました。

この一年間、支部長各位並びに会員各位の多大なるご協力のお陰で全ての研修会が成功

裏に終了することができました。心から感謝を申し上げ報告と致します。

事業部報告

事業部長 舘下正則

令和元年度各支部奉仕活動実施報告 ボランティア活動

一関支部

5月19日 第1回慰問治療「関生園、福光園ケアサポート」9名で、45名施術

7月14日 第2回慰問治療「関生園、アネックス케어サポート」10名で、51名施術

9月22日 第38回一関国際ハーフマラソン大会マッサージボランティア実施
10名で、70名施術

奥州支部

9月29日 「総合体育館」ボランティアフェスティバルマッサージコーナーにおいて
7名で、46名施術

大船渡支部

6月16日 「富美岡荘、祥風園」6名で、33名施術

盛岡支部

10月20日 「矢巾町保健福祉祭り」9名で、70名施術

一関国際ハーフマラソンボランティア報告（第5回研修会報告）

第38回一関国際ハーフマラソン大会が曇り空の中、3061名の選手を迎え、色づいた田んぼの中、健脚を競われました。盛岡支部会員2名、一関支部会員8名の協力により、選手70名を施術しました。

一関国際ハーフマラソンボランティアに参加して

盛岡支部 藤沼敦子

わたしは、マッサージの資格がないので、鍼をやってください、とのことでしたので、施術希望でいらしたランナーの方に鍼の希望を聞いて、希望される方には併用して鍼治療もさせていただきました。

スポーツ系のボランティアはあまり得意ではなく、岩手国体の際にちょっと鍼灸ボランティアをさせていただいた程度でしたが、今回は、ランナーの皆さんがとても元気で、いろいろなお話しをしてくださり、なかなか楽しい体験となりましたことをご報告申し上げます。

「自己ベスト更新しました！」とにこにこしてやって来た女性ランナーさん、毎日走ってますがあんまりこういうメンテナンスをしたことがないので…とドキドキしながらマッサージを受けていった男性。

盛岡のマラソンも参加されますか？と何人かの方にお聞きしましたが、こういう大会に参加されるランナーさんは、そういう情報は入っているらしく、「はい、参加します！」という方が多かったようです。

今後開催される盛岡の大会でも、このようなボランティアが出来れば良いのではないかと

と考えています。そして、今回お会いしたランナーさんに「またお会いしましたね！」と笑顔で再会出来たら良いなあ、と思いました。

先日のメールで、佐々木会長が盛岡市に伺った際、まだ受け入れ態勢が出来ていないとの返答だったとおっしゃっていましたが、それをほんとうに残念に思います。

今回は、支部を超えた参加を快く迎えてくださった支部長さん、会長のお心遣いには心より感謝申し上げます。

保険部報告

保険部長 袖林広正法

平成最後の保険部報告

平成31年4月より令和2年3月までの保険部報告をいたします。

1. 令和元年6月23日（日）アイーナで行われた生涯研修プログラム（第1回）にて、平成30年度保険取扱集計を報告いたしました。

内訳は鍼灸約868万円、マッサージは1965万円で、昨年度より増加傾向でした。

増加した理由はアンケートの協力者が増えたことが考えられますが、一方では一件当たりの取扱高は減少していました。

次年度も皆さんの積極的な参加をお願いします。

2. 令和元年7月7日に福島県猪苗代町のリステルホテルで行われた、東鍼連保険部長会議に出席いたしました。

今回の議題は、最初に各県の取扱高と、取り組みについて、保険部長メーリングの引っ越し、リーフレット作成、宮城県の名取ソフトの件です。

一つ目の保険取り扱い高については、岩手については前述のとおり増加傾向でしたが、他県は減少という結果となりました。

二つ目は保険部長メーリングの話です。

現在、保険部長メーリングリストは無料で提供されている「freeml by GMO」というところを使っておりますが、この会社のサービスは今年の12月をもってサービスが終了します。もともとこの会社を選んだのは山形県の森先生で、設定して下さって運営していました。しかし、このサービスは令和元年12月31日をもって終了するため、11月の末日頃からグーグルメーリングに移行し動作確認中です。今後調整していきたいところです。

三つめはリーフレットの話です。

東鍼連保険部長会議から、以下について全鍼へ提案をいたします。

自動車自賠責保険及び労災保険の取り扱いのリーフレットを作っていたいただきたいということです。

四つ目は宮城県の名取ソフトの件です。

現在宮城県の名取市在住の70歳の方がエクセルのマクロ命令を駆使して、療養費のレセプトを活字印刷できるソフトを作成中とのことでした。年内には完成予定なそうです。

これをつかえば簡単にレセプトを活字印刷できます。私はこれを名取ソフトと命名しましたが、受領委任制度の導入の移行期で、その制度や書式の変更についていけないということで、名取ソフトは破談になりました。

3. 東鍼連保険部長会議

令和元年11月23日午後5時よりアイーナで行いました。

国保連の審査会の話、施術者番号の話、取り組み状況などを他県の保険部長から聞きました。保険を取り扱う人も減ってきているし、取り扱高も減少しているとのことでした。

翌日24日は東鍼連保険部と岩手県師会の合同で生涯研修会（第7回）を行いました。

午前は松浦直美歯科医師による、「100歳までの素敵な日々を自分の歯で」というテーマで行いました。自分の歯で食べることの大切さ等を学びました。その次は「保険審査会委員の業務について」ということで、井口力さんに、国保連の様子や内容を教えていただきました。特に総括表2の後期高齢は市町村別に分けるというのが印象的でした。

午後は「訪問医療マッサージの治療院経営について」というテーマで、レイス治療院の田口倫行さんとその上司の方にお話をいただきました。

4. まとめ

現在、受領委任制度が始まり、国保連の審査会が動き始め、施術報告書や同意期間の延長、又は、兵庫県宝塚市にあるチュウオウという会社から出ている「一灸」という電気温灸器がお灸施術と厚生労働省から認められ、激動の変化をしています。令和からの私たちは、よく学び日頃の施術を充実させていきましょう。

組織強化部報告

組織強化部長 佐藤 茂

令和元年7月7日に福島にて開催された東鍼連組織強化部会議に出席した。

また、9月に行われた東鍼連交流会へも参加したので、その報告をします。

山形東鍼連交流会 in 上山市

9月28・29日に令和最初の東鍼連交流会が山形の上山市で開催されました。

交流会が観光をメインにしてから参加者が増えており、今回は35名くらいの参加者でした。ちなみに本県からは10名参加です。

今回は城下町にして、かつては宿場町であった、上山温泉で開催されました。

まずは、「仙溪園・月岡ホテル」に集合しマイクロバスで漆山果樹園に行きました。果樹園ではブドウを実食し、ジェラートをいただきました。

こちらでは30種類あるブドウを生産しており、お土産で購入することもできまして、私を含め参加者の多くの方がブドウを購入しておりました。

また行ってみたい果実園でした。

その後、高畠ワイナリーへ移動しワイン工場を見学しました。ワイン試飲後月岡ホテルに戻り、上山市の職員の方の講習を聴きました。

上山市では、自然もあり温泉もある地の利を生かし、ウォーキングや健康的な食文化などで健康的な生活習慣を体験してもらう取り組みをしているとのこと、企業からも参加者が多いようです。

講習の後は懇親会。こちらのホテルは増改築を繰り返したのでしょうか、軽い迷路みたいな廊下なため、会場に行くまで大の大人たちが何度か迷ってしまいました。やっと会場に

辿り着き皆で楽しく過ごし、温泉にも入浴。なかなかいい温泉でした。

翌日は雨が降っていましたがチェックアウトする頃には雨が上がり、徒歩にて上山城を見学。ちなみにお城はホテルの近くにあります。

大した大きな城ではないものの、天守閣からの眺めは見晴らしが良く風が気持ちよかったです。お城見学の後、岩手県師会のメンバーでソフトクリームを食べ、電車組は早めに帰路につきました。

最後に、お城をバックに全員で記念撮影をして解散となりました。

参加された皆様、楽しかったです。本当にありがとうございました。

それと、この度の交流会の担当者である菊地司先生ならびに山形県師会の皆様におかれましては、大変お世話になりました。ただただ、感謝です。

まだはつきりとした計画は立てられていないようですが、来年の交流会は秋田です。

来年も秋田交流会へご一緒しましょう。

健康づくり委員会報告

委員長 古水健吾

1. 第26回勉強会と打ち合わせ会議

日時：令和元年6月23日（日）15時30分～16時 出席者7名

会場：アイーナ6階・団体活動室2

内容：（1）8月4日「鍼灸マッサージ県民公開セミナー2019」

健康体操・運動指導部門について打合せ

（2）健康づくり介護予防教室開催の報告（ハマナスの会）

2. 健康づくり教室開催のサポート

健康づくり介護予防教室の実施（主催：ハマナスの会代表：佐藤明）

実施期日：6月19日・7月3日・17日・31日14時～16時（全4回）

目的：①健康教室：自宅で出来る体操運動を覚え健康寿命を延ばす

②健康相談会：鍼灸マッサージ治療で健康維持増進する

会場：薬王堂緑が丘店・2階中ホール

参加者：65歳以上の一般市民のべ17名参加

参加費：千円（会場費・資料代・その他経費）

講師：佐藤明（健康づくり委員会）、清水寛平（健康づくり委員会）

3. 鍼灸マッサージ県民公開セミナー2019

日時：令和元年8月4日（日）9時30分～15時15分

会場：アイーナ4階・県民交流プラザ

・健康体操・運動指導部門を担当

・部門テーマ：健康づくり指導と介護予防啓発を行う

・指導メニュー

①経絡テストと経絡ストレッチ…腰痛：予防と治療

②経絡テストと経絡ストレッチ…首・肩こり：予防と治療

③症状別のツボ押しやストレッチ体操・運動指導

…肩こり・腰痛・神経痛・関節痛など

④貯筋運動……4つの運動と歩行

・委員会出席者7名、市民12人に体操指導した

4. 第27回勉強会と委員会会議

日時：令和2年2月9日（日）15時15分～16時 出席者 名

会場：アイーナ5階・501B

内容：(1) 令和元年度活動報告

(2) 令和2年度活動計画（案）

(3) 8月2日「県民公開セミナー2020」新しい資料の検討

東洋療法推進大会 IN 神奈川参加報告

会長 佐々木 実

今年の大会は横浜市の「新横浜プリンスホテル」で全国から400人余りが参加して（いつもの年より少ない）10月20日から21日にかけて行われました。大会テーマは「令和元年未病治（みびょうち）宣言」。岩手からは私と伊藤庸一さんと二人の参加でした。

大会では1日目12時からの開会式に続いて特別講演が行われ、「未病治と栄養学」と題して神奈川県立保健福祉大学学長、中村丁次（なかむらていじ）先生による講演でした。先生は人類が昔から食べてきたものをあげ、その内容の変化（食生活の変化）と健康について語られました。また、現代の日本人の過剰栄養の問題、新しく発見されている栄養素などについて話されました。

その後は各会場での分科会となりました。私が参加した分科会の感想を簡単に述べます。保険委員会（1）特別講演「政治家としての二階俊博（にかいとしひろ）」。

講師は政治ジャーナリスト森田実（もりたみのる）でした。何のことはない私たちのために働いてくれている二階俊弘氏を持ち上げる講演内容でした。

次に行った分科会は、神奈川県師会主催の杉山和一（すぎやまわいち）の生涯。歴史研究者、内海恒雄（うつみつねお）の講演です。

杉山検校は管絃の考案者であり、鍼灸あん摩の父です。また、視覚障害者のあはき教育の祖となった人でもありますので、私は大いに興味を持って参加しました。ところが残念なことに講師はパワーポイントばかり見ての講演で、「杉山検校の墓が東京ではなく神奈川の江の島にあるということがはっきりした」ということだけを繰り返し、杉山検校の生い立ちや歴史については舌足らず。期待外れの分科会でした。

江の島の福石のある所に杉山和一の像を建てたいということで、協力金を募っている。個人なら5万円の出資で出来上がった像に協力者として名前を刻むとのことでした。除幕式は来年の予定で、寄付金希望者は、（一社）藤沢市鍼灸マッサージ師会まで連絡してほしいとのことでした。

2日目は、法制委員会の「あはき広告ガイドラインの展望」。今年も厚生労働省医政局医事課医事専門官、松田芳和（まつだよしかず）氏を招いての広告の制限について、その後の国家資格外行為者の取り締まり、あはき法改正についてなどの話が行われました。どれを取っても難しい問題で、しかも長期にわたる検討や交渉が必要と感じました（私が

生きているうちにどうにかなるだろうか…？そんな感じ)。

最後の分科会は、視覚障害委員会として私も携わったのですが、「視覚障害者の保険取り扱いについて」でした。音声パソコンを使って保険申請書や領収書、カルテなどを簡単に書けるシステムの紹介や、視覚障害者が保険関連書類への記入把握の必要性などが話し合われました。

この他、行われた分科会は、1日目が（B会場）スポーツ災害対策委員会の「災害とスキントッチ～発災急性期から慢性期まで」。いつ起こるか分からない災害の心構え、鍼灸マッサージのボランティア活動の実際。

保険委員会のシンポジウム「地域に貢献し生き残れる施術所を目指して」。株式会社フレアス代表取締役社長、沢登拓（さわのぼりたく）氏の地域の市民権を得るためには？医師との連携を取るには？

学術委員会の「症例報告・臨床研究発表」。

介護委員会の「地域包括ケアで鍼灸マッサージ師に期待する役割」。

などがありました。

最後に、閉会式が行われ、各分科会報告や公表。そして、来年9月27日（日）～28日（月）に予定されている東洋療法推進大会 IN 徳島の案内があり終了となりました。

大会を通して私が感じたのは、去年の鹿児島大会よりも盛り上がりにかけていたのでは？ということ。全鍼や神奈川県師会が一生懸命やっているにもかかわらず、参加者数は昨年より少なかった、参加者負担経費が大きい、内容がマンネリ化しているなどの声も聞かれました。これらを今後どうクリアしていくか（難しい！）でしょう。

時間があつたので、終了後鎌倉に行きました。ところが、鎌倉に向かう電車の中、鶴岡八幡宮までの道も日本人より外国人が多い。帰りの東京までの電車も同じ。が、今回はちょっとその内容が違っていました。いつもなら中国人が多いのですが、今回は白人系の国の人が多かったです。ラグビーワールドカップ日本大会の応援に来ていての観光なのです。電車の中はスペイン語（？）や英語の大きな話し声。日本にいるのに外国のよう。それに加えてものすごい人の数。家に帰ってほっとしました。都会は本当に疲れます！

第42回東北鍼灸マッサージ学術大会福島大会報告

学術部長 佐藤 明

令和1年7月7日（日）～8日（月）、去年の猛暑の宮城大会とは違って涼しさも感じる中、眼下に猪苗代湖を眺めることができる、福島県「ホテルリステル猪苗代」におきまして、第42回学術大会並びに第72回通常代議員会が開催されました。

大会テーマは「東西医学の架け橋として技能の研鑽をめざせ！！」というものでした。本会からは会員と付き添いを含め19名の参加者がありました。

第1日目、午前中の会議では、今年度第1回東鍼連理事会並びに第72回通常代議員会には、佐々木実会長と館下正則業務執行理事が出席しました。

今回の代議員会におきまして、佐々木実岩手県師会会長が東鍼連の新会長に選任されました。令和時代初の会長就任となり、誠におめでたいことであると思います。

午後からの、第42回学術大会開会式では、平栗辰也福島県師会会長から歓迎のあいさ

つがあり、来賓挨拶は衆院議員の根本匠（ねもとたくみ）厚労大臣をはじめ福島県知事（代理）の祝辞や祝電披露があり盛大な拍手が送られました。

今回の大会は、臨床研究発表が第2日目となり、開会式の終了後が学術講演及び市民公開講座になりました。1題目は、「腰部脊柱管狭窄の病態と治療」という演題で福島県立医科大学前学長である菊地臣一（きくちしんいち）先生による講演でした。

腰部脊柱管狭窄の自然経過は、神経障害型式（馬尾型、神経根型、混合型）により異なり、馬尾型は自然緩解が乏しく手術の適応となる。神経根型は自然緩解の傾向があり、保存療法が第一選択となることなどが述べられました。

講演後、フロアから活発な質問がなされ、それに答えて、腰椎第1椎骨間までは脊髄神経支配であり、第2腰椎から下部は馬尾神経支配であることが話され勉強になりました。また、50年の臨床経験上痛み止めは効果がないと明言されたことには驚かされました。

次に、公開講座でもある特別学術講演として、「野口英世の研究から細菌学進歩の軌跡を探る」と題して、野口英世記念館理事長を務められている医学博士の竹田美文（たけだよしふみ）先生の講演でありました。

竹田先生は、御年85才にしては弁舌明瞭にてやや早口な語り口ながら、とてもその年齢とは思えぬ力強さがありました。明治以降の近代日本医学界に関わるヨーロッパ人医学者の功績から始まり、その当時の先端医学を学び、世界的な業績を残した日本人医学者についてのお話を聞くことが出来ました。本題では、野口博士のよく知られている業績や知られざる逸話などを交えてお話しいただき1時間半がとても短く感じました。

夜の部は懇親会が開かれ、各団体長のあいさつの後、オープニングはクラシックギターの演奏が行われました。そして、おいしいメニューとお酒、カラオケ競演もあり、各県代表者による利きビール大会が催され正解者は1名だけでしたが大変盛り上がりしました。

大会第2日目、各県代表者による臨床研究発表となり、座長には武藤永治福島県師会学術部長が進行役となり、各県から6名の先生による研究発表が行われました。

今年の学術研究発表のテーマは「スポーツ鍼灸マッサージ」でした。わが岩手県師会からは高橋康浩先生による「中高生のスポーツ外傷、障害に対する鍼灸施術の一例」の発表では、練習の成果を発揮していただきました。

研究発表後は、山田東鍼連会長から感謝状と記念品が各自に手渡され、発表者の記念写真を撮影して終了となりました。

次に、伊藤久夫全鍼師会会長によります特別講演として、恒例の演題「鍼灸マッサージ業界の最新情報について」を聞かせていただきました。

内容は、受領委任制度の課題、広告ガイドライン、伝統医療の位置づけ、ボランティア活動、その他について語っていただきました。

業界のリードオフマンとして運動を積み重ね、まだまだ課題が山積している中、少しずつ前進してきた様子や今後への期待をその言葉から感じる事が出来ました。

大会はいよいよ最終盤になり、代議員総会・理事会報告、保険部担当者会議報告、組織強化部担当者会議報告、学術委員会会議報告が行われた後、新会長に就任された佐々木実会長があいさつに立ち今後の抱負を述べられました。続いて、次期開催県である白田栄二山形県師会会長のあいさつをいただきました。

最後に、閉会のことばと謝辞が福島県師会副会長から述べられ、2日間の大会が無事終了しました。

鍼灸マッサージ県民公開セミナー2019 報告

学術部長 佐藤 明

第3回生涯研修会は、イベントとして8月4日（日）、アイーナ4階県民プラザA・B・C及びアイーナスタジオにおいて開催されました。今年で4回目となり、参加会員38名（秋田県師会1名含む）、を含む過去最大人数の41名が参加し、令和時代最初のテーマは、『新しい時代が「鍼灸マッサージ」を求めている！』と銘打ち、元気な活動で盛り上げることができました。

公開セミナーは、マッサージ、はり、きゅう、美顔鍼、健康体操指導の各ブースを設置し、全鍼師会から発行されている各種無免許啓発ポスター等や鍼灸に関する情報、そして、岩手県師会の活動を紹介する写真などの掲示物を張り出しました。

来場者には、「8月9日は鍼灸マッサージの日」と「あなたの健康は鍼灸マッサージの国家免許保有者が守ります」の文字を印刷した「うちわ」を配布して啓発活動を行ったほか、イベント参加会員治療院一覧表を配布しました。

今年の会場配置は、会員参加者の行動範囲が昨年より軽減され、来場者にとっても各部門への移動がわかりやすかったのではないかと思います。

各部門ごとでは、マッサージは46人、マッサージ+はりでは30人、鍼は10人、灸は8人、美顔鍼は10人、体操指導では12人がそれぞれの治療や指導を体験され、のべ116名の来場者数を数えました。これは昨年より10名少ない数字でした。

各部門をひと通り体験された来場者もあり、「効果の高さに驚いた」という声が聞かれました。体操指導の即効性に対しても東洋療法の良さを感じていただいた様子でした。

今回は、新たに治療問診票を作成して記入してもらいました。その来場者のデータを集計した結果は、女性32人、男性18人の合計50人が来場されました。

住所別では、盛岡市の37人をはじめ、滝沢市3人、塩釜市2人、その他8つの市と町が各1人。県外からも6人が体験してくれました。

イベントを知った情報源は、チラシが11人、治療院が9人、マッサージ指導教室が4人、知人が4人、友人が3人、通りすがりが2人、家族が1人、その他16人でした。

症状や痛みの分類では、肩が26人、腰が20人、首が15人、下腿部が7人、背部が7人、大腿部が5人、手首から指が3人、足首が2人、その他が4人のべ合計89人でした。

希望する治療法を尋ねると、マッサージが41人、鍼が27人、お灸が9人、美顔鍼が6人、体操指導が5人、のべ合計が88人という内訳でした。

次に、健康相談についての問いでは、体操や運動あるいは散歩の習慣があるか尋ねたところ、あると答えた人は16人、ないと答えた人は4人でした。その回数に関しては、1週間に1~3回が12人、1週間に4~6回が1人、毎日行っている人が3人でした。そして、体操指導を受けたいですかを聞いたところ、受けたいが5人、いいえが10人でした。

以上が今年のデータですが、今後もこのようなデータ集積を続けイベントの方向性と意義を高めるものにしたいと思います。

そして、イベントも終幕となり、午後2時半、会場の撤収作業が全員の協力で手際よく終了し、閉会のミーティングを行い、各担当部門の責任者や会員の感想意見を話していただいたことを以下に列挙します。

- ・各コーナーごとの受付（問診票記入）が必要である。のべ人数の把握のため。

- ・専門の誘導係が必要である。来場者への対応と治療担当者への引継ぎを徹底するため。
- ・休憩は出来るだけ控室で行ってほしい。
- ・来場者から会場の雰囲気への不満があった。
- ・体操指導の来場者が増え、ストレッチの速い効果や貯筋運動への関心が高かった。
- ・各部門ごとの待合スペースが欲しかった。
- ・イベント会場への来場者の呼び込み方の工夫が必要と感じた。
- ・多種の症状に対応するため、鍼のサイズを多くしてほしい。

最後に、会長から講評があり「何より、無事事故もなく終了できて大成功だった」「治療をメインにしたが、各部門への誘導について課題としたい」「鍼灸マッサージの日のPRは大切であり続けていきたい」などの言葉があり終了となりました。

三団体共催生涯研修会報告

会長 佐々木 実

4回目となる研修会は、当会と視覚障害者福祉協会・盛岡視覚支援学校同窓会三団体共催で9月8日（日）、盛岡視覚支援学校で行われました（午前9時30分～午後2時30分まで）。当会からは会員33名、付き添い1名の参加でした。

講師は筑波大学教授野口栄太郎先生で、演題は「腰部脊柱管狭窄症の診かたと鍼灸手技療法」でした。

午前中は座学中心で、脊柱管狭窄症の解剖と原因、症状による鑑別法、検査法と鍼治療の説明がスライドを使いながら行われました。

午後は場所を2階の視聴覚室から3階のあん摩実習室へと移し、午前中に説明を受けた病変部の見分け方の検査法、そしてパルスを用いた鍼療法を実演していただきました。

また、後療法としてマニピュレーションを利用した手技や運動法を教えていただきました。

当日は参加者も多く（全体で47名）残暑も厳しく会場はエアコンや扇風機を回しても汗だく状態でした。しかし、私たちが日頃の治療で多く遭遇する脊柱管狭窄症ということで、皆さん熱心に野口先生の説明を聞き、質疑応答も活発に行われました。暑さを吹き飛ばすような熱心さでした。

東鍼連福島大会学術研究発表資料

中高生のスポーツ外傷、障害に対する鍼灸施術の一例

はり灸整骨 Y's (ワイズ) 東洋 高橋康浩

【目的】

中高生のスポーツ外傷は、多くが各種大会を間近に控えた練習や試合中に起きる。スポーツ障害もまた大会を間近に控えた時期に訴えが強くなる。特にバスケット、バレー、バドミントン、サッカー、陸上などの競技で、大腿部、膝周辺、下腿部、足関節での捻挫、挫傷、打撲が多い。治療するまでの時間的余裕が無い中、受傷後間もない患者でも

2～4回程度の鍼通電、運動鍼の実施により、相当痛みや違和が軽減して、競技継続することができる症例が多くあったので参考までに報告する。

【方法】

症例 1 中学3年、男性、卓球競技。

主訴：右足内返し捻挫、外果周辺部の痛み

受傷1日目：圧通部・足太陽・少陽・陽明経筋榮穴（通谷・俠谿・内庭、5分-03番）

置鍼、患部周辺微弱電流療法、RICE・松葉杖・整形受診など助言指導

受傷2日目：前回と同様施術、置鍼のまま他動運動・手技療法、圧痛部に刺鍼し痛み感じない程度の運動鍼（5分-03番鍼）、RICE・松葉杖・安静指導

受傷4日目：圧痛部困むように刺鍼（1寸3分-3番）し鍼通電（100Hz-10分）、圧痛部に刺鍼し運動鍼、腫脹、運動痛かなり軽減、圧痛部に円皮鍼、テーピング、サポータ、痛み感じない程度の運動など指導

受傷6日目：圧痛部に刺鍼し運動鍼、荷重負荷での運動鍼、圧痛軽減、圧痛部に円皮鍼。以降、競技に徐々に復帰。

症例 2 高校3年、女性、陸上競技（200m、400m）

主訴：右足内返し捻挫、外果・内果周辺部の痛み。以前よりシンスプリント障害あり

受傷2日目：圧通部・足太陽・少陽・陽明・太陰・少陰経筋榮穴（通谷・俠谿・内庭・大都・然谷、5分-03番）置鍼、患部周辺微弱電流療法、RICE・整形受診など助言指導

受傷4日目：圧痛部困むように刺鍼（1寸3分-3番）し鍼通電（100Hz-10分）、前回同様榮穴に刺鍼、置鍼のまま他動運動・手技療法、圧痛部に刺鍼し痛み感じない程度の運動鍼（5分-03番鍼）、腫脹軽減、運動痛それほど変わらず、RICE・安静指導

受傷6日目：前回同様施術、圧痛部に刺鍼し運動鍼、腫脹かなり軽減、運動痛やや減、圧痛部に円皮鍼、テーピング、サポータ、痛み感じない程度の運動など指導

受傷8日目：圧痛部に刺鍼し運動鍼、荷重負荷での運動鍼、運動痛軽減、圧痛軽減、圧痛部に円皮鍼、テーピング、痛み感じない程度の運動継続

受傷13日目：捻挫による痛みほぼ無くなっていたが、大会前の合宿練習中中足骨近位端や腓骨筋腱などに痛み感じるようになり、練習中止。圧通部・足太陽・少陽・陽明経筋榮穴（通谷・俠谿・内庭、5分-03番）置鍼、患部周辺微弱電流療法、RICE・整形受診など助言指導。

受傷20日目：整形受診により関節炎の診断。荷重痛や圧痛近傍で本人反応の良い足経筋の兪穴、榮穴（束骨、太白、太衝、5分-03番）刺鍼し痛み感じない程度の運動鍼、圧痛軽減、圧痛部に円皮鍼

以降、2日～7日ごと数回施術。その後、本人高総体県予選出場回避、東北大会4×400mリレー出場。

【結果】

鍼通電、微弱電流療法、関節・筋リラクゼーション手技では、腫脹が軽減。

運動鍼では、患部と経筋、経別、奇経療法の経穴などに刺鍼しながら、他動・自動運動実施により、痛み、違和が軽減。

【考察】

運動鍼では、経筋、経別、奇経の経穴などの遠隔効果は思ったほど得られなかった。圧痛点や運動痛の箇所をよく確かめ、根気よく刺鍼し直すことで良好な結果が得られやすかった。

【結語】

治癒するまでの時間的余裕がない場合でも、運動鍼はある程度効果が見込まれる。患者のその後の競技人生など総合的に判断し、患者と保護者へ、障害についてしっかりとした説明、助言、指導が重要である。

各支部活動報告

二戸支部

広報担当 古舘吉弘

皆さんいかがお過ごしでしょうか。

令和という元号に代わってあっという間に1年が過ぎてしまいました。

令和元年は8ヵ月しかなく、これからが本当に令和時代を過ごしていくことになります。

昨年、日本では台風による大雨など災害が多くありました。この岩手県でも沿岸地域が災害に見舞われ被害は大きかったようです。被害にあわれた方々に対し、お見舞い申し上げますとともに早く元の生活に戻れるよう祈っております。

また、世界中でも相変わらず紛争などが絶えません。どうか平和な時代になってほしいと思っております。

さて、我が二戸支部は県師会などの所属会員は5名おりますが、なんとか元気に過ごしております。しかし、会員の減少と高齢化により事業ができなくなっております。

そんな中、県民セミナーには2名も参加しております。また、支部では4月14日に総会を開催しました。

今後とも、できる限り県などの事業にも協力できるよう努力したいと思いますのでよろしく申し上げます。

盛岡支部

支部長 佐藤 明

県師会会員の皆さんこんにちは。今年の冬は昨年同様に雪も少なく快適だったものの、人類の生命を脅かす新型コロナウイルス感染症拡大という思わぬ異常事態が発生し、世界規模で人々の社会生活が大混乱し、すでに、多方面で各種会合及び各種イベント等の延期や中止が決まり、東京オリンピック・パラリンピックも影響が懸念されている状況です。

さて、当支部では、盛岡市から委託され4年目となる、健康づくりマッサージ等指導教室事業の運営を行い、高齢者の健康保持増進と介護予防に微力ながら貢献できたのではないかと思います。また、矢巾町健康福祉まつりでは4回目となるマッサージボランティアを実施しており、主催者はじめ来場者からも喜ばれるなど毎回好評を博しております。

次に、盛岡支部情報メールも4年目となり19回配信しました。支部からのお知らせをはじめ、県師会行事のお知らせや各種活動報告を行い、会員56名(3月末現在)のまとまりを維持するために一定の役割を果たしていると思います。

続いて活動日誌による報告を致します。

4月14日 支部定例総会開催。会員60名中27名出席、20名の委任、計47名の出席で開催され、議長は村上晃(むらかみあきら)氏が務めた。提案された全議案が全会一致で承認された。(岩手マッサージセンター)

同日 第1回支部役員会開催。役員7名と監事1名出席。(岩手マッサージセンター)

5月12日 県師会第78回定時総会が開催され、22名が出席し委任状は19名。昨年度の生涯研修会修了認定者9名に修了証が贈られた。(アイーナ)
また、懇親会には18名と付添1名が出席した。(うまや)

6月23日 岩手県師会第1回生涯研修会が開催され、会員23名と付添1名が参加した。(アイーナ)

6月29日 健康づくりマッサージ等指導教室第1回全体ミーティング実施され、指導員7名出席。(岩手マッサージセンター)

7月7日・8日 東鍼連福島大会(第2回生涯研修会)が開催され、会員8名、付添い2名が参加した。(ホテルリステル猪苗代)

7月28日 第2回支部役員会開催。7名出席。(岩手マッサージセンター)

8月4日 岩手県師会第3回生涯研修会兼鍼灸マッサージ県民公開セミナー2019が開催され会員25名、付添1名参加。(アイーナ)
また、公開セミナー反省慰労会兼佐々木実県師会会長の東鍼連新会長就任を祝う会が開催され、会員16名、付添い1名が参加した。(うまや)

9月8日 岩手県師会第4回生涯研修会(三団体学術研修会:健康保持のための研修会)が開催され、会員24名が参加した。(盛岡視覚支援学校)

9月22日 岩手県師会第5回生涯研修会(第38回一関国際ハーフマラソン大会)が開催され、スポーツボランティアとして会員の藤沼敦子さんと高橋康浩さんが参加した。(一関市総合体育館)

9月28日 健康づくり・マッサージ等指導教室第2回全体ミーティング開催。指導員5名出席。(岩手マッサージセンター)

9月28日~29日 東鍼連山形交流会(第6回生涯研修会)に、会員3名と付添1名参加。(上山市、仙溪園・月岡ホテル)

10月20日 矢巾町健康福祉まつりに、マッサージ無料体験コーナーにボランティアとして参加。会員9名と協力員1名で70名に施術した。(矢巾町保健福祉センター)

11月17日 第3回支部役員会開催。5名出席。(岩手マッサージセンター)

11月24日 岩手県師会第7回生涯研修会が開催され、会員13名と付添1名が参加。(アイーナ)

12月14日 忘年会開催。会員15名と家族1名参加。(えびいず)

令和2年

2月9日 岩手県師会第8回生涯研修会が開催され、会員12名と付添1名が参加。

(アイーナ)

2月29日 健康づくり・マッサージ等指導教室第3回全体ミーティング開催。指導員6名と浅沼帆波市長寿社会課職員出席。(岩手マッサージセンター)

3月8日 第4回支部役員会開催。6名出席。(アイーナ)

次に、会員動向ですが、新入会者は火石イク子(ひいしくこ)さんが10月に入会されました。皆さんどうぞ宜しくお願い致します。

退会者は、井上貴奈(いのうえたかな)さん、伊藤奏音(いとうかなね)さんの2名が昨年4月に退会され、川村良二(かわむらりょうじ)さん、印牧享(かねまきすすむ)さん、伊勢澤佑介(いせざわゆうすけ)さん、菅原智顕(すがわらともあき)さんが3月末で退会され、6名の方が残念ながら退会されました。

井上さんは1年間、伊藤さんは2年間の在籍でした。川村さんは、昭和57年入会以来39年間在籍され多大なご貢献をいただきました。印牧(かねまき)さんは、平成元年入会以来31年間在籍されご貢献いただきました。伊勢澤(いせざわ)さんは、支部及び県会員として6年間在籍され岩手障害者国体のボランティアなどでご活躍いただきました。菅原さんは5年間在籍いただきました。6名の方のご功労に対して、支部長として感謝を申し上げます。

奥州支部

支部長 千田節雄

平成から令和へと元号の代わったこの1年、お祭りムードといった感じで年度末を迎えようとしている。そんな中、いわゆる19条裁判で東京・大阪での国側の勝訴は、我々にさらなる戦う力というものを持たせてくれたのではと思うと共に、4月27日の仙台地裁の判決に注目をしている。

奥州支部は、会員数が少なくなり、何か行事をと思っても出来ないような状態になっている。私がこの会に入会した頃のにぎわいが、今でははるか昔の思い出となってしまう、非常に寂しい思いでいる。

本会の主な行事

4月14日 定期総会を「やしな」において実施

9月29日 福祉センターにおいて水沢ボランティアフェスティバルにマッサージ奉仕で参加し、7名で47名を施術した。

12月8日 第1回役員会議を開く

1月19日 視福協と合同で新年祝賀会「四季の荘・町の中店」で実施

3月1日 第2回役員会議を開く

一関支部

支部長 館下正則

皆さんお変わりありませんでしょうか。昨年の5月に元号が令和と代わり新しい時代の幕開けとなりましたが、相も変らぬ自然災害猛威、景気の低迷とあまり良い年ではない1年でした。

さて、一関支部の会員動向は昨年と変わりありません。

活動報告

4月 7日 定期総会 福祉センター 9名出席

5月 19日 第1回慰問治療 関成苑、福光苑ケアサポート 9名で45名施術

7月 14日 第2回慰問治療 関成苑ケアサポートアネックス 10名で51名施術

9月 22日 第38回一関国際ハーフマラソン大会マッサージボランティア、10名で70名
施術

その他、県師会の総会、東鍼連大会、県民公開セミナー、生涯研修会等への参加協力。

大船渡支部

支部長 古水健吾

4月 14日 支部総会 大船渡温泉 5月 12日 県師会総会に出席 盛岡

6月 16日 マッサージ奉仕 祥風苑と富岡荘

11月 17日 忘年会 まるしち会館

毎年同じ活動となっておりますが継続しています。

活動を通し、会員相互の近況報告や、情報交換などができています。

今後も少数精鋭で活動していきたいと思えます。

また、県師会行事へもできる範囲で参加していきたいと思えます。

花巻&遠野支部、釜石&宮古支部

花巻&遠野、釜石&宮古支部の皆さんは特に支部活動は行っておりませんが、県師会総会、研修会、東鍼連等へは積極的に参加くださっています。

特にも昨年と今年の年始に行われた執行部会議の準備には、大変な働きをしていただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

これからもご協力の程宜しくお願いいたします。

編集後記

広報部長 松下優子

1年が矢のように過ぎ今年も会報の発行の時期となりました。

希望の令和と誰かが言っていましたが、台風による災害がとても多い年でした。

予定されていた北上ハーフマラソンも中止となり、ボランティア活動もなくなりました。

そして年明けには新型コロナウイルスが猛威をふるい、人々の普通の生活を奪っています。収束にはまだ時間がかかりそうですが、それぞれが自覚を持って行動し、一日も早く普通の生活を取り戻せるように努力しましょう。

最後に、原稿をお寄せ下さった皆さんありがとうございました。

また、会報の発行にはいつものことながら、会長、副会長の多大なるお力添えをいただいております。

奥付

一般社団法人 岩手県鍼灸マッサージ師会
令和2年度 会報 「東洋療法いわて」 第52号
令和2年5月1日発行

発行人 会長 佐々木 実
〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地
電話 0195-77-2057

編集責任 広報部長 松下 優子
〒020-0667 滝沢市鶉飼向新田7番地-227
電話 019-687-2405

事務所（事務局）会長 佐々木 実
〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地
電話 0195-77-2057

ホームページ <http://iwateken-harikyumasikai.jimdofree.com/>
郵便振替 岩手県鍼灸マッサージ師会 02360-9-19833

印刷所 有限会社 浜印刷
〒020-0667 滝沢市鶉飼洞畑56-29

電話 019-684-3569

KANAKEN

痛み・美肌・疲労回復に

Biomini II

—バイオミニII—

バイオミニ II

KE-562 価格 138,000円+消費税

(クラスII/特種) 認証番号: 226AFBZX00071000

- 定格電圧: DC6V、単三形乾電池4本、専用ACアダプタ UC89120620 (入力 AC100V)
- 定格消費電力: 0.2W
- 寸法: (高さ) 77.1mm × (幅) 223.5mm × (奥行) 124.6mm
- 重量: 290g
- 最大出力電流: 2mAms (1000Ω 負荷時)
- 定格出力電圧: 12.6Vp-p (1000Ω 負荷時)
- 出力周波数: 0.27~333Hz
- パルス幅: 1ms~180ms
- 出力波形: パルス波
- 出力チャンネル数: 2チャンネル
- 治療時間: 15、20、30分
- 使用環境条件: 温度 10~40℃、湿度 30~75%、気圧 700~1060hPa
- 安全装置: セロスタート方式、電源スイッチ、出力レベルDOWNスイッチ
- 適合規格: JIS T2032 2011

- 付属品 (別売品) 別売品
- ①乾電池 TRS-7000
 - ②クロコアダプター (別売)
 - ③オクトパスコード
 - ④専用ACアダプター

4つのモードから選ぶ
簡単操作!!

マイクロカレント
微弱電流



モード

こり

モード

痛み

モード

美肌 (再生)

モード

疲労 (リンパドレナージュ)

- ▶ 痛めた部位をメンテナンス。
- ▶ こりや痛みはお肌の大敵。

- ▶ 傷ついた身体の修復。
- ▶ しみ・しわ・たるみ・くすみ肌を改善。

- ▶ 疲れ切った身体を回復。
- ▶ 疲れた体は美容の大敵。

痛

みの治療に新しい提案

即効深部刺激、サーノスだけのPDMウェーブ搭載



表層部位から深層部位まで刺激をコントロール。
新開発の「PDM波形」を搭載。

KANAKEN

低周波治療器

SARNOS

—サーノス—

低周波治療器

SARNOS (サーノス)

KE-548 価格 850,000円+消費税

(クラスII/特種) 認証番号: 222ALBZX00038000

- 定格電圧: AC100V
- 電源周波数: 50/60Hz
- 電源入力: 100VA
- 最大出力電圧: 130Vpp±20% (500Ω 負荷時)
- 最大出力電流: 70±10mAms (500Ω 負荷時)
- 出力周波数: 1.26kHz±10% ~ 1.74kHz±10% 2.7kHz±10%
- 出力波形: A, B
- 出力チャンネル数: 6
- 安全装置: セロスタート方式・ストップスイッチ・電源ヒューズ5A
- 本体の寸法: 幅 330mm × 奥行 351mm × 高さ 226mm
- 本体の重量: 約 5.2kg



- 【付属品】
- 電源コード 1本
 - アースコード 1本
 - 2F, 3F 交換プラグ 1個
 - 導子コード 異形規格品 2本
 - 丸形湿性導子 異形規格品 8個
 - マジックバンド 長さ3本・短3本
 - 添付文書 1部
 - 取扱説明書 1部

ただいまデモンストレーションを実施中です。
お気軽にお問い合わせください。

総発売元 株式会社 カナケン

本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL 045-901-5471代 FAX 045-902-9262

022-287-6273 http://e-kenkou.jp/ E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL 06-6935-3016代

新潟営業所: TEL 025-286-0521代

福島営業所: TEL 024-961-7211代

仙台出張所: TEL 022-287-6273代

FAX 06-6935-3017

FAX 025-286-8870

FAX 024-961-7221

FAX 022-287-6218